

厚木市教育大綱に関する意見交換会について

政策等の議題(テーマ) の名称及び検討事項		厚木市教育大綱に関する意見交換会	
開催日時		令和2年9月29日(火) 午後7時から午後8時まで	
開催場所		厚木市役所本庁舎 4階 大会議室	
出席者数		8人	
担当課	企画政策課	結果公開日	令和2年 10 月9日
会議の経過		1 開会 2 部長あいさつ 3 厚木市教育大綱の概要説明 4 意見交換 5 閉会	
	質問・意見の概要	市の考え方	
1	厚木市教育大綱の主体は誰か。	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、策定主体は市長となります。 なお、大綱の策定にあたっては、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において協議します。	
2	国が示す学校のICT環境の整備として、厚木市においてもGIGAスクール構想 ^{※1} の実現に向けた取組が進んでいくと思うが、この取組は教育大綱(案)のどこに示されているか。 <small>※1義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する計画。一人一人の個性に合わせた教育の実現や教員の働き方改革を目的とする。</small>	今回の教育大綱(案)の基本目標「支える」の「快適な学習環境を整えていくこと」、基本方針2の「先進的な教育の実践」、さらに基本方針3の「未来の担い手となるため確かな学力を育む」という点で、学習用端末の整備やICT ^{※2} の活用など、Society 5.0 ^{※3} という新たな時代を担う人材の教育に関する目標・方針を定めており、御質問のありましたGIGAスクール構想の実現に向けた取組につきましては、これらの方針等に含まれているものと考えております。 なお、教育大綱については、詳細な施策について定めるものではなく、目標や施策の根本となる方針を定めるものとなります。つきまし	

		<p>ては、市民の皆様にも、より理解を深めていただくことを目的に、別途冊子を作成し、解説を加えますので、分かりやすい表現となるよう検討してまいります。</p> <p>また、現在策定中の第2次厚木市教育振興基本計画においては、基本方針の達成に向けた施策の方向性を示してまいります。</p> <p>※2Information and Communication Technology の略。情報・通信に関する技術の総称で、多くの場合、ICTは「情報通信技術」と和訳される。 ※3サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する「人間中心の社会」。狩猟社会を「Society 1.0」、農耕社会を「2.0」、工業社会を「3.0」、情報社会を「4.0」と定義される。現在は情報社会(4.0)を迎えており、「Society 5.0」は、その次の社会の在り方として提唱されている。</p>
3	児童・生徒1人1台の学習用端末を整備するにあたっては、学校内だけでなく自宅などでの活用も検討されたい。	<p>当面は学校内での運用を予定していますが、将来的には自宅での学習にも対応が必要と考えています。各家庭におけるWi-Fi環境の普及状況など、課題を整理し検討していきます。</p>
4	基本方針1に示されている「多様化する子育てニーズ」とは具体的に何を指すか。	<p>核家族化の進展、働く人の意識の変化、就業形態の多様化など、子どもを取り巻く家庭や社会環境が大きく変化する中、保育や幼児教育の充実など、子育て支援に対するニーズが高まっています。</p> <p>令和元年度の市民意識調査においては、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるための必要な施策として「延長保育、休日保育など保育サービスの充実」や「産前産後の育児や家事などの支援の充実」、「子育て相談体制の充実」などの回答が高い割合を占めています。</p>
5	基本方針2の、「先進的な教育の実践」とは、具体的に何を指すか。	<p>先進的な教育とは、Society 5.0という新たな時代のもと、AI^{※4}やビッグデータ^{※5}、グローバル化に対応した教育などを想定しています。</p> <p>現在取り組んでいる先進的な取組の一つとして、本市ではオリンピックを契機として、ホストタウンであるニュージーランドとの交流事業があり、両国の学校同士のオンライン交流や互</p>

		<p>いに留学を受け入れるなど、子どもたちのグローバル化に向けた取組を推進しています。</p> <p>※4人工知能。学習・推論・認識・判断などの人間の知能の働きを持たせたコンピューターシステム。 ※5インターネットの普及や、コンピューターの処理速度の向上などに伴い生成される、大容量のデジタルデータのこと。分析することにより、事業や社会的・環境的な課題の解決に役立てることができる。</p>
6	<p>最近、自殺や人命が軽視される事件などに関する報道が多い。学校教育の現場においても、人権の尊重や命の尊さについての教育に重きを置くべきと考えるが市の考えは。</p>	<p>基本方針6では、平和や命の尊さ、人権や多様性の大切さを学ぶことを位置づけており、現在も平成30年8月の沖縄県糸満市との友好都市の締結をきっかけとした、国際平和や命の大切さ学ぶ交流等に取り組んでおり、今後も続けていこうと考えています。また、あらゆる立場の人がお互いにかげがえのない人として尊重され、それぞれが持つ多様性を認め合えるよう、人権の大切さを学ぶ教育を一層推進していきます。</p>
7	<p>教職員の時間外労働が多く、肉体的、精神的な負担が多くかかっていると聞く。原因を検証するとともに、働き方改革を進めるべき。</p>	<p>基本方針4では、子どもたちの学びを確かなものにしていくため、教職員が時間と心のゆとりを持ち、子どもたちと向き合える環境を整えていくことを位置づけており、部活動指導員の配置など教職員の働き方改革に向けた取組を推進していきます。</p>
8	<p>この教育大綱(案)は具体性がないと思う。後で評価できる指標が必要ではないか。</p>	<p>教育大綱については、詳細な施策について定めるものではなく、目標や施策の根本となる方針を定めるものとなります。なお、市民の皆様により理解を深めていただくことを目的に、別途冊子を作成し、解説を加えますので、分かりやすい表現となるよう検討してまいります。</p> <p>また、現在策定中の第2次厚木市教育振興基本計画においては、基本方針の達成に向けた施策の方向性を示していきます。</p>
9	<p>社会の現状や将来の変化を踏まえている点は、教育大綱(案)のどこに示されているか。</p>	<p>これからの社会は少子高齢化の進展や人口減少社会の到来、地震や台風等の自然災害の激甚化、情報通信技術の進展等による経済・産業構造の変化、市民ニーズの高度化・多様化、また、新しい生活様式への移行など、大きな変化が予想されています。</p> <p>こうした変化を踏まえ、教育大綱(案)の策</p>

		<p>定にあたっては、子育て支援や学習環境の整備、文化芸術の振興、安心・安全な学校づくりなど、教育施策全般の目標や根本となる方針を基本理念、基本目標、基本方針に定めています。</p> <p>社会変化を踏まえていることが御理解いただけるよう別途解説冊子を作成してまいります。</p>
10	<p>社会人になってからの学び直しなど、リカレント教育^{※6}にも対応する必要があると思うが、こうした点は教育大綱(案)のどこに示されているか。</p> <p>※6※職業上必要な知識・技術の修得または心の豊かさや生きがいを目的に、学校または学校以外で学び直すこと。</p>	<p>基本方針9では、人生100年時代^{※7}の到来を見据え、誰もが生涯にわたり、自分のスタイルに合わせて、学びたいときに学びたいことが学べる環境づくりの推進を位置づけています。</p> <p>「知の拠点」となる図書館や博物館、生涯学習講座などを充実させ生涯にわたる学びを支えていきます。</p> <p>※7 100歳まで生きることが当たり前となる時代。世界で長寿化が急激に進むことにより、人々の生き方や働き方に変化が求められるようになると予想されている。</p>
11	<p>支援が必要な子どもや社会的弱者に対する配慮については、教育大綱(案)のどこに示されているか。</p>	<p>誰もが社会の一員として認められる共生社会の実現に向けて、多様性の尊重はこれからの教育を支える重要なテーマの一つです。</p> <p>今回の教育大綱(案)における基本目標「支える」では、誰一人取り残さずに安心・安全で快適に学習できる環境づくりを進めることを定めています。同じく基本目標「共生」では、一人一人が互いの存在を尊重し多様性を認めながら共に生きていく、仲間づくりの力の育成を位置づけています。</p> <p>また、基本方針3では、一人一人が「確かな学力」を身に付けるため、個別最適化された学びの実現、さらに、基本方針6では誰もが安心して教育を受けることができるよう、相談体制の充実やインクルーシブ教育^{※8}の推進など心身両面への支援を充実し、それぞれの可能性や個性を伸ばす教育を推進します。</p> <p>※8共生社会の実現に向け、障がいのあるなしにかかわらず、できるだけ全ての子どもが同じ場で共に学び、共に育つための教育。</p>